

耐障害性に優れた全国展開基幹システムを構築

アプリケーションの自動運転に成功

ヴィンキュラム ジャパン株式会社

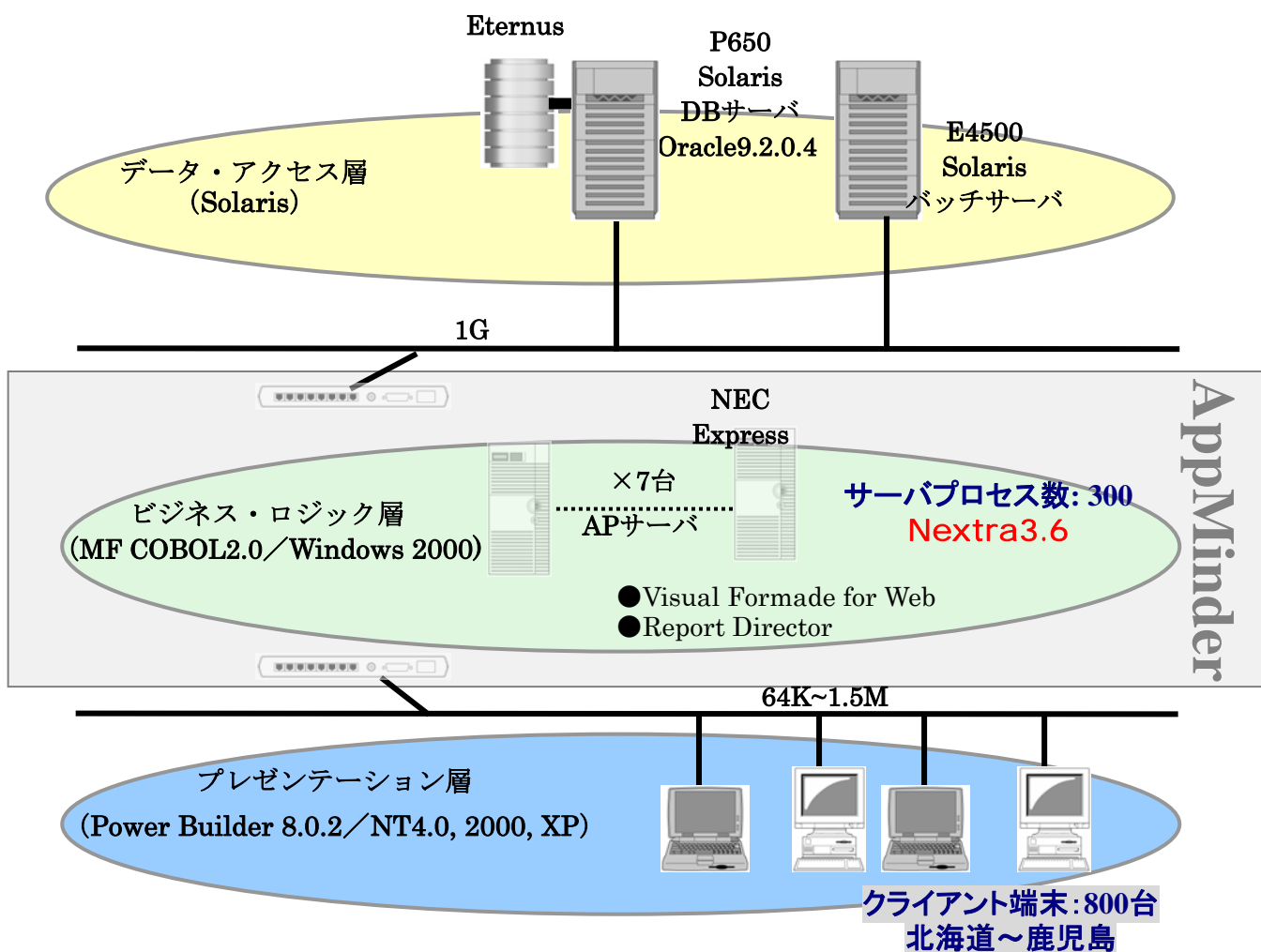
所在地◆大阪市北区

事業内容◆システムソリューション（システムコンサルティング・設計・開発・運用・付帯サービス）、システムプロダクト、インターネット関連サービス

なぜ Nextra か？

- Nextra を使用することで、プログラマはクライアントと AP サーバ間の通信ロジックを意識することなく開発できるため、開発生産性の向上を期待できた。
- 止められない基幹業務アプリケーションであったので Nextra を採用。
- クライアント端末とサーバマシンの中に ISDN/64K という極細回線を利用しているユーザも存在するので、3層分散システムを実現する Nextra を選択。

システム構成図



「ポイント」
 ①高耐障害性 ②自動運転 ③安定稼働

ユーザーコメント

ヴァインキュラム ジャパン 株式会社

GMSシステム事業部 企画グループ 上田 眞一郎氏

開発するにあたって、Nextra の RPC 自動生成機能を利用し、分散物理 3 層 C/S システムを実用化することを重要なコンセプトとしました。Nextra を使用して良かった点は、プログラマがクライアントと AP サーバ間の通信ロジックを全く気にする必要が無く、生産性の向上が図ることができた点です。並列アプリケーションサーバマシン上に Nextra/Broker とサーバプロセスを並列に配置することにより、耐障害性に優れたシステム運用を実現しました。また、付属のアプリケーション監視ツール「AppMinder」を使用することにより、アプリケーションの自動運転が可能になりました。約 1,000 トランザクション/時間ですが、アプリケーションが停止したことはありません。バグ、トラブルがないため殆どインスパイアサポートにコンタクトしたことはありません。

システム概要

アプリケーション名：某メンテナンス業者向け原価管理システム

基幹業務の生産性向上を目的に開発された。契約物件の管理、及び契約の進行管理、その他会計上から、債権債務、販売予算実績集計をカバーしている。販売管理一般。9時から21時まではオンライン稼働。夜間バッチは深夜から翌朝まで稼働。

導入経過

1999年9月：本番稼働

2003年8月：Nextra3.6へバージョンアップ

導入効果

本社で一括入力していたものを、全国の支店/センターで分散オンライン入力することにより、本社の人員削減とデータの一元化、共有化が可能となった。契約の進行管理が一目瞭然となり、リアルタイムデータの把握による、経営効率アップの実現、機会ロスを最小限にできた。また、支払いなどの牽制効果ができるようになった。

今後の課題

参照系のWEB化を検討中。